

入学おめでとう!!

片桐英数塾通信

河合サテライトネットワーク校
 全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
 TEL 24-1337
 FAX 82-6185
天神教室
 TEL 23-1899
 E-mail
 info@katagirijuku.com



「今、ここから」始まる 「夢」へと繋がる一歩を踏み出そう!

年末以降、忙しい日々を送っていましたが、春の陽気をゆつくりとのんびりと感じられるシーズンがやってまいりました。ありがたや、ありがたや。さて、新高1生、新高中1生のみなさん、「入学おめでとう。これから新しい生活が始まります。夢と希望に満ち溢れていることと思います。これから始まる三年間がみんなにとって有意義なものとなるよう祈っております。

と、「めでたい、めでたい」という内容の塾通信にしたいところではあるのですが、今年「現実を知ってもらう」ということをテーマにしておりますので、このめでたい4月号でも「現実」を書いてみようと思えます。

大学とは。
 新高1生の中には「大学ってどうやって行けるの?」と悩んでいる人も多いかと思いき、そこから説明いたします。大学には国立大学と私立大学があります。例えば東大、京大とか、香川大、岡山大とかがあり、私立大学では関東では慶応大、早稲田大なんか有名で、関西では、関西大、関西学院大、同志社大、立命館大なんか有名です。で、国立大学に合格するには、一次試験に当たる「センター試験」の得点と二次試験の得点の合算で合格が決まります。中には、センター試験での「二段階選抜」のある大学もあります。また、私立大学では「センター試験」で合格を決めたり、各大学独自の「一般入試」で合格を決めたりします。国立大学への進学を考えると「センター試験」では最低七割以上というのが一つの目安だろーと思えます。

と、私立大学には「指定校推薦」という制度があります。が、「一般入試で突破できる学力を持った上で・・・」という塾の思いもありまして、塾の方針、塾通信の内容は「大学受験を目指す塾生のために」という思いに基づいたものとしたと考えております。

中学と高校では全てが格段に違ってくる。
 英語では「名詞・動詞・副詞・形容詞・関係詞・疑問詞・・・」などの品詞や、「主語・動詞・目的語・補語」といった文の要素、そして「語・句・節」などという高校英語を学ぶ上で不可欠な知識から勉強し始めます。中学では文法用語は使わずに指導することが求められていたのが、多分、そういったところと違和感や拒絶反応を示すかもしれません。それが分かっていないと、正直なところ、今後の英語は理解し切れないでしょう。そして、例えば、助動詞だけでも数が増えるし、現在完了だけじゃなく過去より前の大過去から起算する過去完了になってきたり、「もし俺が男前なら、あの子と結婚できたろう

に・・・(男前じゃなかったら結婚できなかった)」みたいな「たら・れば」の表現や「やっつきや良かった(けどせんかった)」みたいな表現も加わります。こんな風にニュアンスや時制の幅が一気に増えます。これまで何となく勉強してたら割と点の取れていた中学英語の感覚では理解が追いつきません。そして、数学では、例えば二次関数では、あれ程までに「曲線の頂点は原点でいて欲しい」と願っていたのに、こちらに願いを無視して上に行ったり下に行ったり、右に行ったり左に行ったり、落ち着きの無い感じになり、また、中学の時はそつなく出来ていた因数分解でさえ、時折吐き気をもよおすようになるかもしれません。しかしながら、これらは「大学受験」までを見据えると、イロハのイ、できないと始められないところなのです。英語・数学だけでも大変なのですが、全ての教科において、求められるものが深く広くなるのです。さらに、大学受験のオーソドックスなスタイルは『5教科7科目』です。7科目ということは2つほど今より増えるって事になるので

ら見ているこちら「えっ?もう受験生か?」って感じになります。とても早く3年という時間が過ぎ去りますので、当然ながら受験もあつと言間に目の前に現われます。だから、自ずと中学の一日と高校の一日とは求められる質は全く変わってきます。「まだ入学したばかりだから」とのんびりするのではなく、一日一日を大切にしていきたいと思います。

まずは高1の夏までを大切にすること。
 4月。まだ新しい生活も始まったばかりでやる気もあるし、学校の授業も入門的なことばかりなので「こんなものか」と思ってしまう。5月。4月の緊張が徐々に和らぎ五月病。友達もでき学校生活も楽しくなってきたけど、勉強がどんどん難しくなってくる。6月、7月は、部活も忙しいし、勉強はとにかく試験期間中に短期集中。一学期が終わる。やれやれ何とか乗り切ったとホッとする。夏休み。一学期の復習しようという思いだけで終わってしまう。観劇の頃になると「ま、何とかなるか」と根拠の無い楽観が頭の中を飛び回ると、まあ、こんな感じで「大学受験敗北のシナリオ」が高校入学後、わずか数ヶ月でできてしまいます。まず、こうなってしまうと、余程、気合を入れ直さない限り、原点復帰は難しくなります。

中学の3年間の半分に感じる3年間。
 本心に不思議なのですが、みんなが同じように口にします。「高校の3年間はものすごく早い」と。どう数えても中学の時と同じ3年なのですが、傍か

に必要ない、高2で学ぶ基礎は入りません。「高1で遊んだから高2で挽回」は無理です。高1で遊んだら、高2になると高2で高1からやり直さなければならぬようになります。なので、そのところ注意しておいて下さい。

新高1生に伝えておきたいこと。
 生まれて初めての苦しかった受験を終えたばかりだから、開放された、楽しみたいという思いは強いからと思います。しかし、初めから楽しいことだけを求めないで下さい。自分の本分をよく理解し、自分の行くべき道を探しながら、時に脇道に逸れても良いのですが、すぐに本道に戻り、自分の行

くべき道を、常に全力で進もうと歯を食いしばり一生懸命に進んで下さい。そうやって頑張っていると、きっと光がさすと思えます。全てのことを楽しんできてくれると思えます。



合格おめでとう

- 2010年度大学入試における塾生の合格状況です。
- 国立大学**
- 京都大学(工)・・・1名
 - 大阪大学(薬・基礎工)・・・2名
 - 香川大学(医)・・・1名
 - 北海道大学・・・1名
 - 兵庫県立大学・・・1名
 - 高知女子大学・・・1名
 - 高知大学・・・1名
 - 愛媛大学・・・1名
 - 広島大学・・・1名
 - 奈良女子大学・・・1名
 - 奈良教育大学・・・1名
 - 北九州市立大学・・・1名
 - 岡山大学・・・2名
- 私立大学**
- 津田塾大学・・・1名
 - 京都薬科大学・・・1名
 - 立命館大学・・・7名
 - 明治大学・・・1名
 - 関西学院大学・・・2名
 - 東京理科大学・・・1名
 - 安田女子大学・・・1名
 - 川崎医療福祉大学・・・1名
 - 関西大学・・・1名
 - 龍谷大学・・・1名
 - 近畿大学・・・1名
 - 関西外国語大学・・・1名
 - 大阪総合保育大学・・・1名
 - 兵庫医療大学・・・1名
- ※ 合格体験談は編集後紹介します。

春から始めよう! 「河合サテライト講座」

大学受験を考えるならば早めのスタートが成功のカギです。その高2生、高3生! 「学校の課題で一杯一杯」なんて言っている場合ではありませんよ。主要教科の基礎固め、理科地歴科目の受験勉強は早めに計画的に進めておこう! 受講詳細は坂本教室まで!



坂本教室からのお知らせ
 お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

※ 坂本教室の4月の休日は、**4日(日) 11日(日) 18日(日) 25日(日)**です。

メールアドレス info@katagirijuku.com